

# 平成26年第2回下仁田町議会定例会会議録第2号（13日）

招集年月日	平成26年6月6日					
招集の場所	下仁田町議会議場					
開閉会日時 及び宣言	開会	平成26年6月6日午前10時00分			議長	佐藤公夫
	閉会	平成26年6月13日午前11時00分			議長	佐藤公夫
応（不応）招議員 及び出席並びに 欠席議員 出席12名 欠席名 欠員名 凡例 ○ 出席を示す △ 欠席を示す × 不応招示す	議席番号	氏名	出席等の別	議席番号	氏名	出席等の別
	1	永井正之	○	7	佐藤勇二	○
	2	木暮弘元	○	8	千野榮治	○
	3	矢嶋榮一	○	9	島崎紘一	○
	4	原秀男	○	10	堀口博志	○
	5	岩崎正春	○	11	岡田武二	○
	6	高瀬政信	○	12	佐藤公夫	○
会議録署名議員	8番	千野榮治	9番	島崎紘一		
職務のため議場に出席したものの氏名	事務局長	斉藤昇久		書記	並木文子	
地方自治法 第121条に より説明のため出席した者の氏名	町長	金井康行		会計課長	堀口玲子	
	副町長	—————		ガス水道課長	金井義富	
	教育長	吉井誠		水道課長	(ガス水道課長兼務)	
	総務課長	竹内芳則		教育課長	浅川幸則	
	企画財政課長	永井邦佳				
	健康課長	神戸哲				
	産業振興課長	神戸康全				
	ジオパーク推進室長	神戸宏				

## 議 事 日 程 別紙のとおり

---

### 会 議 に 付 し た 議 件

---

- 1 委員長報告
- 2 第49号議案 平成26年度下仁田町一般会計補正予算（第1号）
- 3 陳情第3号 「義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書」採択に関する陳情書
- 4 議案第50号 義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書
- 5 議案第51号 下仁田町農業委員会委員の推薦について
- 6 第52号議案 平成26年度下仁田町役場庁舎耐震補強工事請負契約について
- 7 閉会中の継続調査の申出書について

### 会 議 の 経 過

---

開 会 平成26年6月13日 午前10時00分

---

- 議長 佐藤公夫 おはようございます。  
ただいまから本日の会議を開きます。  
お諮りいたします。  
本日の議事日程につきましては既に決定しておりましたが、新たな案件が提出されましたので、お手元に配付してありますよう日程を追加し変更したいと思います。これにご異議ございませんか。  
（「異議なし」の声あり）
- 議長 佐藤公夫 異議なしと認めます。よって、本日の議事日程は、議席にお配りしたとおり変更することに決定いたしました。  
ここで暫時休憩をいたします。  
休 憩 午前10時02分  
再 開 午前10時42分
- 議長 佐藤公夫 休憩を解いて再開いたします。
- 

- 議長 佐藤公夫 日程第1、委員長報告に入ります。  
過日、委員会に付託をいたしました議案及び陳情に対する各委員会におけ

る審査の経過及び結果について報告を願います。総務常任委員長  
(高瀬政信総務常任委員長 登壇)

○総務常任委員長 高瀬政信 ご指名によりまして、総務常任委員長報告を申し上げます。

総務常任委員会は、6月10日午前10時45分から、委員会室301において、委員全員出席のもと、本会議において付託された陳情1件について審査をいたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

陳情第3号 「義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書」採択に関する陳情書を議題とし、直ちに審査に入り、委員から、国負担割合が引き下げられたことにより学校教育にどのような影響があったのか等の質問もありましたが、国の負担割合が引き下げられ、地域の財政力により教育に格差が生ずるのは問題で、義務教育は国が堅持する必要があるとの意見があり、慎重審査の結果、陳情第3号は全会一致をもって採択すべきものと決しました。

以上をもって総務常任委員長報告といたします。

○議長 佐藤公夫 引き続きまして、予算決算特別委員長  
(千野榮治予算決算特別委員長 登壇)

○予算決算特別委員長 千野榮治 ご指名をいただきましたので、予算決算特別委員長報告を申し上げます。

予算決算特別委員会は、6月10日午前10時から、委員会室301において、委員全員出席のもと、本会議で付託された議案1件について審査を行いましたので、その結果についてご報告いたします。

なお、本委員会は全議員で構成する特別委員会でありますので、質疑の内容は省略をさせていただきます。

付託されました第49号議案 平成26年度下仁田町一般会計補正予算(第1号)は、慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上をもって予算決算特別委員長報告といたします。

○議長 佐藤公夫 以上で各委員会における審査の経過及び結果報告が終わりましたが、これらの委員長報告に対する質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 佐藤公夫 委員長報告に対する質疑はないものと認め、質疑を終結します。

○議長 佐藤公夫 次に、日程第2、第49号議案 平成26年度下仁田町一般会計補正予算（第1号）を議題とし、これより討論に入ります。討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長 佐藤公夫 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。  
第49号議案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。  
（挙手全員）

○議長 佐藤公夫 挙手全員です。よって、第49号議案は原案のとおり可決されました。

---

○議長 佐藤公夫 次に、日程第3、陳情第3号 「義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書」採択に関する陳情書を採決いたします。

陳情第3号の委員長報告は採択であります。この陳情を委員長報告どおり採択とすることに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長 佐藤公夫 挙手全員です。よって、陳情第3号は採択とすることに決しました。

---

○議長 佐藤公夫 次に、日程第4、議案第50号 義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書を議題といたします。

議会事務局長に朗読させます。議会事務局長

（斉藤昇久議会事務局長 登壇）

○議会事務局長 斉藤昇久 命によりまして、議案書を朗読します。

議案第50号 義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書

上記の議案を、別紙のとおり下仁田町議会会議規則第13条の規定により提出いたします。

平成26年6月13日 下仁田町議会議長 佐藤公夫様

提出者 下仁田町議会議員 高瀬政信、賛成者 同佐藤勇二、賛成者 同千野榮治、賛成者 同島崎紘一、賛成者 同堀口博志、賛成者 同岡田武二。  
別紙。

義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、義務教育の機会均等とその水準の維持・向上及び地方財政の安定のため国が必要な財源を保障するとの趣旨で確立されたものであり、これまで我が国の義務教育の水準向上に大きな役割を果たしてきた。しかしながら、平成18年に義務教育費国庫負担金の負担率が3分の1に縮小されたことや地方交付税削減の影響、厳しい地方財政の状況などから、地方自治体において教育予算の確保が困難となっており、義務教育の円滑な推進に重大な影響を及ぼしてきている。

さらには、多くの地方自治体で財政が厳しくなる中、少人数教育の実施、学校施設、旅費・教材費、就学援助・奨学金制度など教育条件の自治体間格差が広がってきている。

自治体の財政力の違いによって、子どもたちが受ける「教育水準」に格差があってはならない。義務教育の水準確保と地方教育行政の充実を図るためには、一人ひとりの子どもたちにきめ細かな教育とよりよい教育環境を保障するための教育予算の一層の拡充が必要である。

よって、下仁田町議会は、政府、衆参両院議長に対し、下記の事項を実現されるよう強く要望する。

#### 記

1. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月13日 群馬県甘楽郡下仁田町議会議長 佐藤公夫

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣あてでございます。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○議長 佐藤公夫 朗読が終わりましたので、本案に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 佐藤公夫 質疑がないようですので、質疑を終結して討論に入ります。討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 佐藤公夫 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。

議案第50号を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長 佐藤公夫 挙手全員です。よって、議案第50号は原案のとおり可決され

ました。

---

○議長 佐藤公夫 次に、日程第5、議案第51号 下仁田町農業委員会委員の推薦についてを議題といたします。

提案理由の説明を議会事務局長にいたさせます。議会事務局長  
(斉藤昇久議会事務局長 登壇)

○議会事務局長 斉藤昇久 命によりまして、議案書を朗読し、説明申し上げます。

議案第51号 下仁田町農業委員会委員の推薦について  
農業委員会等に関する法律第12条第2号の規定による議会推薦の農業委員は2名とし、下記の者を推薦する。

住所、氏名、生年月日、  
田村和子、  
長井美笑子、

平成26年6月13日提出 下仁田町議会議長 佐藤公夫

提案理由、神戸八千代氏、武藤千恵子氏が、平成26年7月19日任期満了となるためでございます。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○議長 佐藤公夫 提案理由の説明が終わりましたので、お諮りいたします。

議案第51号を原案のとおり決することにご異議ございませんか。  
(「異議なし」の声あり)

○議長 佐藤公夫 ご異議ないものと認め、議案第51号は原案のとおり決定いたしました。

---

○議長 佐藤公夫 次に、日程第6、第52号議案 平成26年度下仁田町役場庁舎耐震補強工事請負契約についてを議題とし、提案理由の説明を総務課長に求めます。総務課長

(竹内芳則総務課長 登壇)

○総務課長 竹内芳則 命によりまして、第52号議案を朗読し、ご提案、ご説明申し上げます。

第52号議案 平成26年度下仁田町役場庁舎耐震補強工事請負契約について

平成26年6月9日条件付一般競争入札に付した、平成26年度下仁田町役場庁舎耐震補強工事請負契約について、下記のとおり請負契約を締結するため、下仁田町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する

条例第2条の規定及び地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求める。

記

- 1 契約の目的 平成26年度下仁田町役場庁舎耐震補強工事請負契約
- 2 契約の方法 地方自治法施行令第167条の2第8号及び下仁田町契約規則第19条第1項第6号の規定による随意契約
- 3 契約の金額 金3億5,375万4,000円
- 4 契約の相手 上原・諸星下仁田町役場庁舎耐震補強工事共同企業体  
共同企業体代表者 甘楽郡下仁田町大字川井196-2  
上原建設株式会社  
代表取締役 五十嵐 修  
共同企業体構成員 甘楽郡下仁田町大字下仁田424-2  
諸星建設株式会社  
代表取締役 諸星和夫

平成26年6月13日提出 下仁田町長 金井康行。

以上でございますが、よろしくお願いたします。

○議長 佐藤公夫 提案理由の説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 佐藤公夫 質疑がないようですので、質疑を終結して討論に入ります。討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長 佐藤公夫 討論ないものと認め、討論を終結して採決いたします。

第52号議案を原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長 佐藤公夫 挙手全員です。よって、第52号議案は原案のとおり可決されました。

---

○議長 佐藤公夫 次に、日程第7、閉会中の継続調査の申出書についてを議題といたします。

総務、社会経済常任委員長並びに議会運営委員長から、会議規則第74条の規定により、お手元に配付しましたとおり、閉会中の継続調査の申し出がありました。

お諮りいたします。

各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 佐藤公夫 異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

以上で、本定例会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

会議規則第44条の規定により、字句等の整理につきましては議長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 佐藤公夫 異議なしと認めます。したがって、字句等の整理につきましては、議長に一任願いたいと思います。

これをもちまして、平成26年第2回下仁田町議会定例会を閉会いたします。大変ご苦労さまでした。

閉 会

---

平成26年6月13日 午前11時00分

---

以上は、会議の経過を記載したものである。その内容に相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

議 長 佐 藤 公 夫

---

署名議員 千 野 榮 治

---

署名議員

島 崎 紘 一

---